

# 競技注意事項

2017 国体春季選抜競技会

1 本大会は、2017年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに大会要項によって行う。

## 2 ナンバーカードについて

- (1) 本年度愛知陸協登録ナンバーカード（ビブス）を胸部・背部に確実につける。走高跳・棒高跳は、胸または背につけるだけでよい。走幅跳・三段跳は、胸につけるだけでもよい。
- (2) トラック競技に出場する競技者には、写真判定用の腰ナンバーカードを配付する。  
ランニングパンツの右横やや後方に、そのままの大きさを明確に数字が読めるようにつける。
- (3) 腰ナンバーカードはフィニッシュ後、係（フィニッシュライン前方スタンド側）に返却する。

## 3 ウォーミングアップ場について

- (1) ウォーミングアップ場は、瑞穂北陸上競技場及びレクリエーション広場を使用する。  
使用時間は **8時00分** から **最終種目招集開始時刻** まで。  
※北陸上競技場のレーン使用区分は原則として次のとおり。（200m・5000mのレースがあるので担当役員の指示にしたがう）  
1・2レーンは中・長距離、3～6レーンは短距離、7・8レーンはハードル  
フィールド芝生部分は芝生養生期間であるのでハンマー投の競技以外では使用できない。
- (2) 投てき種目は練習できないので、競技開始前に各ピットで競技役員の指示により行う。
- (3) 本競技場2階雨天走路の使用は、競技役員の指示に従う（事故防止・安全確保の措置）。
- (4) 本競技場のトラックは、ウォーミングアップのために、大会の準備に支障のない範囲で、出場競技者に限り、**競技開始30分前**まで使用できる。

## 4 招集について

- (1) 招集所は正面スタンド下、**100mスタート付近競技者ホール**に設ける。
- (2) 招集の受付は本人が行い、時間に遅れたものは棄権とみなして出場を認めない。
- (3) 招集開始時刻及び招集完了時刻は当該競技開始時刻を基準とし、次のとおりとする。

		招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技		30分前	20分前
跳躍競技	走高跳・走幅跳・三段跳	40分前	30分前
	棒高跳	70分前	60分前
投てき競技		40分前	30分前

- (4) 他の種目に出場しているなど特別の事由がある場合、代理人による招集を認めるので競技者係主任（招集所）に事前に申し出る。

## 5 競技場への入退場について

- (1) 入場は、係員の指示により行う。
- (2) 退場は、下記による。
  - ・トラック競技 → フィニッシュライン右手前方の退場口から2階の雨天走路を経て退場する。
  - ・フィールド競技 → 競技役員の指示による。

## 6 レーン・試技順について

- (1) トラック競技のレーン、フィールド競技の試技順は、プログラムの数字で示す。
- (2) 決勝の組合せ及びレーンは、正面階段上の掲示板上に掲示する。

## 7 トラック競技について

- (1) タイムによる決勝進出者の決定について、同記録（1000分の1）があり、レーン数が不足するときは、抽選（競技規則第167条）を行う。
- (2) 抽選は、番組編成員が該当者をアナウンスにより招集して行う。該当者は、アナウンスより10分以内に本部へ集合する。

- (3) 進出決定者の発表は、アナウンス・大型映像およびスタンド正面階段上の掲示板で行う。
- (4) 400mまでのレーン使用の競技では、フィニッシュ後も他の競技者の安全のために、自分に割り当てられたレーン（曲走路）を走行して止まることとする。

## 8 フィールド競技について

- (1) 三段跳の踏切板は男子 12m、女子 9mとする。
- (2) バーの上げ方

	練習A	練習B	1	2	3	4	5	6	
男子成年走高跳	1m80	2m00	1m85	1m90	1m95	2m00	2m03	2m06	以後 3 cm
女子成年走高跳	1m45	1m65	1m50	1m55	1m60	1m65	1m70	1m73	以後 3 cm
男子少年走高跳	1m75	1m95	1m80	1m85	1m90	1m95	2m00	2m03	以後 3 cm
男子中学走高跳	1m50	1m60	1m55	1m60	1m65	1m70	1m75	1m80	以後 3 cm
女子中学走高跳	1m30	1m50	1m35	1m40	1m45	1m50	1m55	1m58	以後 3 cm
女子成年棒高跳	1m80	2m60	1m90	2m10	2m30	2m50	2m70	2m90	以後10cm
男子少年棒高跳	3m60	4m30	3m60	3m80	4m00	4m20	4m40	4m60	以後10cm
女子少年棒高跳	2m00	2m60	2m20	2m40	2m50	2m70	2m90	3m00	以後10cm

(練習はA・Bいずれか希望する高さで行う)

※第1位決定の場合のバーの上げ下げは、走高跳では2cm、棒高跳では5cmとする。

- (3) 跳躍・投てき競技の助走に使用するマークは主催者が用意する。マークは2個まで（サークルより行う投てき競技は1個まで）使用できる。

## 9 上訴

抗議がある場合には、結果が発表（アナウンス）された時刻を基準とし、次のラウンドがある場合は15分以内、次のラウンドがない場合は30分以内に審判長に口答で申し出る。

## 10 競技用器具について

- (1) 競技に使用する器具は、すべて主催者が用意したものを使用する。

ただし、棒高跳用ポールは、個人所有のものが使用できる。やりについては、競技場がないものもしくは1つしかないもの場合は持ち込みを認めるので、希望者は招集開始時刻の1時間前から招集開始時刻までの間に、南器具庫（フィニッシュライン付近）で検査を受ける。

- (2) 男子投てき用具の重さ

成年砲丸 7.260kg      少年B・中学砲丸 5.000kg

少年共通円盤 1.750kg      中学円盤 1.500kg

- (3) 女子投てき用具の重さ

少年共通砲丸 4.000kg      中学砲丸 2.721kg      少年共通円盤 1.000kg

- (4) ハードルについて

男子少年共通 110mJH 高さ 0.991m      男子中学 110mH 高さ 0.914m

女子少年B 100mYH 高さ 0.762m      ハードル間 8.50m、中学 100mH 高さ 0.762m      ハードル間 8.00m

## 11 競技用靴について

スパイクピンの長さは9mm以内とする。ただし、走高跳・やり投は12mm以内とし、スパイクピンの先端近くで少なくとも長さの半分は、4mm四方以内でなければならない。なお、スパイクピンの数は11本以内とする。

## 12 パロマ瑞穂スタジアムの使用について

- (1) 開門時刻は、午前8時00分である。それ以前には立ち入らない。
- (2) 応援幕等は、バックスタンドの最上部以外には張ってはならない。
- (3) 応援はスタンドで行い、本部席前通路や競技場内では行わない。
- (4) 集団での応援は禁止である。
- (5) 清掃・ゴミ処理は、各学校・各団体に責任をもって行い、環境美化に努める。

ゴミ問題は深刻な状況です。各自「ゴミの持ち帰り」をお願いします。現在、競技会終了後の「清掃・ゴミ収集」は、一部の学校の部員の奉仕活動により行われており、その労力は多大なものとなっています。他人に迷惑をかけないよう互いに気を配り、自宅への持ち帰りにご協力ください。

- (5) 本大会は、清掃当番を名城大附属高校と緑高校をお願いします。  
競技終了後、ただちに本部室前に集合してください。

### 13 その他

- (1) ナンバー・氏名・所属等の間違い、訂正があれば、団体受付後に本部に申し出る。
- (2) 更衣室は更衣のみに使用し、荷物は置かないようにする。更衣後の荷物は各自で管理する。
- (3) 貴重品類は各自で保管する。万一の事故があっても、責任は負わない。盗難に注意すること。
- (4) 応急処置を必要とする事故が生じたときは、医務室（フィニッシュライン付近スタンド下）において処置を受ける。なお、応急処置後の治療は本人負担とする。
- (5) 本大会は、愛知陸協強化委員会医事部会が、競技者のコンディショニングと応急処置に当たっています。ケガの治療だけでなく、相談業務も受け付けていますので、積極的に医務室をご利用ください。テーピング用のテープは利用者で負担（持参）してください。
- (6) 競技中にカメラ・ビデオの映像を競技に支障がないようにスタンドから見せることができる。ただし、競技場内に持ち込むことはできない。もし競技に支障をきたした場合は直ちに禁止とする。
- (7) 個人情報の扱いについて  
愛知陸協は、個人情報保護に関する法令を遵守し、日本陸上競技連盟個人情報保護方針に基づき取り扱います。尚、取得した個人情報は大会の資格審査、プログラム編成及び作成、記録発表、その他競技運営及び陸上競技に必要な連絡等に利用します。
- (8) カメラ・ビデオ等の撮影は、出場の団体・学校と選手の家族を除き必ず本部で許可を受けること。

#### 観客席からの撮影制限について

- ① 観客席での撮影禁止をさせていただくエリアは下記の席です。
- ・各種目のスタート後方
  - ・走高跳、棒高跳、走幅跳、三段跳の助走後方・着地前方
  - ・走高跳マットに向かった正面（クリアランス動作中）
- ② 保護者および本人の了解がない撮影を禁止します。
- ③ 競技者がスターティングブロックの足合わせをしたり、試技を待っていたりする間や体を動かしているなど準備の行動の撮影は禁止します。
- ④ 他者に著しく迷惑をかける行為と主催者で判断した場合は、すみやかに警察および関係機関に連絡をとらせていただきます。